



苫小牧ライオンズクラブ

Tomakomai Lions Club

ライオンズクラブ国際協会331-C地区第5リジョン第1ゾーン



苫小牧ライオンズクラブのあゆみ

苫小牧ライオンズクラブは札幌LCのスポンサーによって、1960年4月27日、20名の創立会員により苫小牧市公民館において呱呱の声をあげた。

全国では178番目、北海道では18番目のクラブ誕生であった。

その後、会員の増強を図り、1960年9月に8名、1961年3月には3名の会員が加入し、1961年には38名となり年度末の6月28日に国際協会よりのチャーター状の伝達式を日劇において挙行し、正式に国際協会の一員として名実共に一人前のライオンズクラブとなった。

初代会長には当時王子製紙苫小牧工場次長の森島利七氏。チャーターナイト委員長には保利啓吉氏が就任し、それぞれ格調ある当クラブの歴史の一頁を飾るにふさわしい名会長、名委員長振りを発揮された。

チャーターナイト10周年終了後の1970年10月にクラブ分割委員会が設けられ、協議の結果、1971年6月15日「苫小牧中央LC」が当クラブのスポンサーによって誕生した。

また当クラブがエクステンションしたクラブは、1961年に静内LC、1974年に厚真クラブがある。

苫小牧地区においてはキャビネット引き受けの準備が進められ、市内3クラブの推薦によりL宮崎英夫がガバナーエレクトとして立候補し、第28回地区年次大会（室蘭市）において承認され、第65回国に1982年度331-C地区ガバナーに就任した。又、翌年3月には市内3クラブのスポンサーにより道内では3番目のライオンズクラブが誕生した。

1985年6月28日、チャーターナイト25周年を迎えた当クラブは会長L瀬野篤史のもと「クォーター記念は特に立派であるべき」との先輩ライオンの指導もあり、大会委員長L成田 繁を頂点に全会員総力を挙げて取り組んだ。そして記念式典の席上で苫小牧港と次城県大洗港のフェリー就航に合わせて兼ねてから準備を進めてきた333-B地区（茨城県）大洗ライオンズクラブと姉妹クラブの締結を行った。25周年以後も、毎年各会長のもと当クラブの継続事業である「交通安全絵画展」を始め、数多くのアクティビティを行い地域発展に貢献を果たしている。

1990年6月23日チャーターナイト30周年記念式典を会長L梶川壽正・大会委員長L荒木潤司のもとで挙行、地域内LCそしてスポンサークラブ札幌LC、姉妹クラブ大洗LCから多くのメンバーの参加を得た。

チャーターナイト30周年記念アクティビティとして「苫小牧市社会福祉協議会」へ「車椅子24台」を寄贈、関係者から感謝をされた。

1986年にはL荒木潤司を、1989年にはL板谷 昇をゾーンチェアマン、1990年にはL成田 繁をリジョンチェアマン、1995年にはL八若博明をゾーンチェアマンとしてキャビネットに輩出。

1993年吉田ガバナーのキャビネットには、L成田 繁を大会委員長、L荒木潤司を大会委員長代行、L高橋和雄を大会事務局長、L松尾敏司をキャビネット委員、L伊藤篤二・L神保康夫をPR・情報・エコ編集委員として出向させ、キャビネット運営と地区大会成功の力となった。続いて1994年、室蘭キャビネットには、L荒木潤司をリジョンチェアマン、L斎藤幸治がリジョン委員として出向。一年間その重責を担った。1995年6月、当クラブはチャーターナイト35周年を迎えた。チャーターメンバーを始め多くの先輩Lが築いて来た名誉と伝統を

際大会に参加し正式守り、地域社会に奉仕を続けて行くことを第821回例会において、会長L八若博明以下全メンバーが誓いを新たに誓った。

続いて1995年第37代会長に就任したL大坂 武は当クラブの伝統を守りつつ同好会「食通会」を発足させ、会員親睦の場をより充実させることの努力を行った。

1996年キャビネット会議の決議により、次期の副地区ガバナーを苫小牧地区から選出することになり、市内4クラブ協議の結果、当クラブの引き受けが決まった。

クラブ例会でも満場一致で承認され、L瀬野篤史を推薦、地区大会においてその就任が決定された。その過程における1995年度会長L大坂 武、1996年度会長L対馬宗一郎の努力は特筆に値する。また、懸案であったクラブ終身会員規定を制定した。

1998年度会長L峯 繁實は、当クラブから輩出した331-C地区ガバナーL瀬野篤史を支えるべく、クラブ一丸となって努力することを誓い、積極的な活動を展開した。

331-C地区ガバナーL瀬野篤史は、当クラブにおいては1982年度L宮崎英夫ガバナー以来、実に16年振りに輩出されたガバナーである。

併せて苫小牧としては初めてMD・CABも設置され、MD議長に就任した。

L瀬野篤史地区ガバナーは、ガバナースローガンに「心豊かにウィサーブ 希望を告げるハーモニー」を掲げ一年間の活動を開始した。

この行動は目覚ましく、公式訪問、各Z・Rセミナー等においては「ハーモニーの原点はファミリー（家族）である。

ライオンズの組織もファミリーでなければならない」と訴え、地区内各クラブからは最大級の評価を得た。

併せてMD議長としてより一層の活躍を期待し、この一年間に蒔き続けた種子は331-C地区年次大会・MD地区年次大会において見事に結実した。

なお、瀬野地区ガバナーを支える地区幹事としてL高橋和雄、地区会計としてL中川 勝、キャビネット運営委員長としてL榎原忠久、副委員長としてL牧田 宏が就任。

エコ編集・PR・情報委員長L津田勝利、副委員長L伊藤篤二、委員L立花昭一、L芹澤 功。リジョンチェアマンL板谷 昇、リジョン委員L早川隆一。キャビネット運営委員L神保康夫、L大槻泰夫、L金子明男、L竹山 健、L山下三成。更にMD運営委員会に、委員長L高橋和雄（併任）、副委員長L中川 勝（併任）、委員L牧田 宏（併任）、委員L青地洋一が就任し、瀬野キャビネットの一翼を担った。

1999年7月、創立40周年を控え会長に就任したL牧田宏は、記念アクティビティについては「市民、特に小学生にアピールするアクティビティを行いたい」と提言。創立40周年記念実行委員会を結成、委員長にL板谷 昇が就任。記念事業部会長L竹山 健を中心としてその実行計画が企画された。そして、種々検討を重ねた結果、従来より行ってきた当クラブの継続事業である市内小学校3年生対象の「交通安全絵画展」を「交通安全ポスター展」と改称し、応募全作品を第34回とまこまいスケート祭りの会場通路に屋外展示し、広く市民にアピールする。併せて市内小学校4・5・6年生より「命の大切さ」をテーマとした作文を公募。これは全作品を冊子として編集発行する。

両作品は慎重な審査を得た後、2月12日スケートまつり会場のハイランドスケートリンク内に設けられた特設会場で表彰式を挙行。

次いでもう一つのACTである「超デラックスクイズ」と「抽選会」が始まった。このクイズの問題も「命の大切さ」をテーマとするものであった。

東京デイズランド行きと豪華賞品を求めて1,500余名の小学生の熱気で会場は沸き返り、計画は大成功裡に終了することが出来た。

この記念ACTにはL竹山部会長以下担当Lを始め、苫小牧ライオンズクラブ会員全員が配置されたそれぞれの部署においてその任に当たったことを付記する。

この年、L峯 繁實がゾーンチェアパーソンに就任し、ゾーン内5クラブの結束を見事に成し遂げ、現在の礎を築いた。

2001年7月から2003年6月まではL高橋和雄が2年間にわたり地区長期計画リサーチ委員として、地区内の運営方針などに対して活躍されました。

2003年7月、苫小牧中キャビネットでは、地区名誉顧問にL瀬野篤史、地区MERL委員・地区会員維持・エクステンション委員長にL大槻泰夫、地区長期計画リサーチ委員にL高橋和雄、地区献血・献眼・献腎保健委員長にL峯 繁實、地区LCIF国際協調委員長にL牧田 宏、地区エコ誌編集PR情報委員にL伊藤篤二、地区会計監査にL板谷 昇がそれぞれ就任し、L田中稔地区ガバナーを強力に支え、成功裡に納めた。

2004年7月、函館キャビネットではL立花昭一がゾーンチェアパーソンに、地区MERL委員・前会員維持・エクステンション委員長にL大槻泰夫がそれぞれ就任。共にゾーンの発展に務められた。

創立45周年記念は、スポンサークラブである札幌LCをはじめ、姉妹クラブの大洗LC、子クラブである静内LC、厚真LC、市内3クラブ、ネスクラブの出席を頂き、会長L米田匡克のもと、ささやかな中にも厳粛のうちに式典を終了されました。

■記念アクティビティ

交通安全啓発看板 2基を設置、苫小牧市へ寄贈。

- 樽前13番の6・・・1基
- 植苗651番の1・・・1基

この年より社会福祉委員会では、港まつり会場に於いて資金獲得アクティビティとして本格的に参入模擬店を出店、手探りでスタート。それでもメンバーの多くの参入を頂き、130万円以上の売り上げを達成。

1回目のアクティビティは社会福祉協議会に贈呈。次年度以降の弾みをつける、素晴らしいアクティビティとなる。この年の9月より前浜に於いて地引網例会を開催、多くのメンバーが参加をし TENT を張り、焼き鳥、チャンチャン焼き、豚汁等で楽しい一時を過ごし、網には鮭も入りメンバー一同大歓声が沸き上がり、鮭と一緒に記念写真に納まるメンバーも現れ、地引網ならではの楽しさを味わいました。

2006年伊達キャビネットにRC P、L立花昭一、R委員、L芹澤功を向出、リジョンの発展に努められた。特に、LCIF事業が10年振りに再挑戦した「視力ファースト2キャンペーン」は3年目の仕上げの年度となり地区内に於いてもキャビネット全体で取り組んだACTでした。全世界で200億円以上日本8複合で60億円の実績を上げキャンペーンは大成功の内に終了しました。例会には札幌地方裁判所苫小牧支部長、判事棚崎哲夫氏を招き司法一般市民参加の裁判員制度を学ぶ。又、陸上自衛隊第七師団長、陸将庄田豊氏を招き、日本、アジアの平和と安全について学びました。

2007年函館キャビネットにMERL特別委員会副委員長地区エクステンション会員増強維持副委員長にL立花昭一が出向。地区発展に努められた。クエスト事業の一環として市民会館に於いて、「地域の安全子供を守る特別講習会」を開催。あいにく台風の為、地区内の首長が出席出来ず多少盛り上がり欠けた大会ではありましたが。

2008年苫小牧キャビネットにはキャビネット運営委員会会長にL阿久津修一、MERL委員長にL立花昭一、会則委員長にL榊原忠久、ライオンズクエスト委員長にL芹澤功、PR・情報エコー誌編集委員にL佐々木勝彦、大会委員会事務局次長にL高橋忠、監査にL高橋和雄を向出され、それぞれ小玉ガバナーの一年の重責を担った。

2009年L阿久津修一会長のもと50周年を迎えるにあたり、創立50周年記念会実行委員会を正式に発足。記念会部長にL菅原馨、記念事業部長にL大槻泰夫、会計部長にL前多孝行、懇親部会長にL牧田宏、記念誌部長にL立花昭一、記念ゴルフ部長にL峯繁實をそれぞれ選出。記念会顧問に重鎮が顔面を並べ丸となって50周年記念会成功に向け活動に入った。コンセプトは「認証状伝達から現代、未来を見つめて我がライオンズクラブの歩」。創立50周年記念会にはスポンサークラブ札幌ライオンズクラブ会長L長谷川征輝、姉妹クラブ、大洗ライオンズクラブ会長L長谷川正徳、地区ガバナーL青木誼、MD331ガバナー協議会議長L後藤忍、前地区ガバナーL小玉誠、ガバナーエレクトL茂尾実ほか各名誉顧問、地区役員、更には苫小牧市長岩倉博文様初め関係団体各位のご参加を含め役430名の参加を頂き大成功の内に終了しました。

■記念アクティビティ

苫小牧剣道連盟様へ大会優勝旗 2旗 寄贈

苫小牧市へ ライオン像 寄贈

ふみの会へ 苫小牧ライオンズクラブ名入りハガキ1000枚 寄贈

75年100年に向けて誓いを新たに！！

函館キャビネットにZCP、L大槻泰夫、MERL委員長にL立花昭一を向出。共に地区発展に努められた。今期はインフルエンザの大流行により、社会福祉事業のイベントがほとんど中止になりました。

昨年より始めた収穫祭、特大大根200本をじゃがいもクラブへ寄贈。

2011年キャビネット会議の決議により次期副地区ガバナーを苫小牧地区より選出することとなりしない4クラブの協議の結果、当クラブの引き受けが決まり、L高橋和雄を推薦し、第59回地区年次大会において就任した。

1998年度L瀬野篤志ガバナーより15年振りとなる。

苫小牧キャビネット ガバナースローガン

新たな黎明のために、一人ひとりが輝ける組織へ

キーワード 向上心

高橋地区ガバナー率いる苫小牧キャビネットには、三役としてキャビネット幹事にL大槻泰夫、キャビネット会計にL峯繁實が選出された。

又、運営委員長L前多孝行、運営副委員長L福森希志雄が就任し苫小牧キャビネットの指揮を執った。

苫小牧キャビネットに、会則委員会委員長にL榊原忠久、PR・情報・IT委員会にL岩崎悦雄、青少年・少年キャンプ及び交換委員会委員長にL工藤伸哉を輩出。

当クラブでは国際協会331-C地区ガバナーL高橋和雄を全力で支える為、市内4ホストクラブと共にキャビネット運営に当たった。

高橋地区ガバナーは、山田寛弘国際第二副会長が提唱する会員倍増計画の中で重要な位置を占める家族会員制度の導入を地区内に呼びかけ、当クラブにおいても制度の導入がなされることとなった。

地区年次大会大会委員に於いて、当クラブは式典部会及び代議員部会を担当することとなり、式典部会長にL杉村光則、代議員部会長にL小木章一選出、記念すべき第60回地区年次大会に臨み成功裏に終了させ、苫小牧キャビネットの成功に寄与した。

2015年6月14日、チャーターナイト55周年を迎えるためにあたり、創立55周年記念式典実行委員会を発足。会長L小野 操一のもと、記念式典実行委員長にL福森希志雄、式典懇親部会にL高橋由利枝

記念事業部会長にL岩崎 悦雄、記念誌部会長にL藤川 学、総務会計部会長にL盛川 勝敏をそれぞれ選出。55周年記念式典の挙行にあたりまして、苫小牧市長岩倉博文様をはじめご来賓頂きました関係者団体各位様、スポンサークラブ札幌ライオンズクラブ会長L谷征輝、姉妹クラブ大洗ライオンズクラブ会長L佐藤 巖、地区ガバナーL松浦 則雄、ガバナーエレクトL佐々木忠康、苫小牧市内及び各地のライオンズメンバー皆様方のご臨席を賜り、盛大に終える事ができました。

■55周年記念アクティビティ

苫小牧剣道連盟様へ大会優勝旗 2旗寄贈

ふみの会へ 苫小牧ライオンズクラブ名入り ハガキ 1500枚 贈呈

2020年6月6日に開催でした苫小牧ライオンズクラブ創立60周年記念式典を迎えるにあたり創立60周年記念式典実行委員会を発足。会長L盛川 勝敏のもと、式典実行委員長にL菅原 馨、式典・懇親部会長L杉村 光則、記念事業部会長L綱木 幸男、記念誌部会長L山田眞理子、総務会計部会長L伊藤 俊子とそれぞれ選出。式典の挙行に向けて準備を進めて参りましたが、中国で発生した新型コロナウイルスの拡大に伴い、ウイルス蔓延防止に鑑み式典をクラブ内のみのチャーターナイト形式にて縮小し開催しました。

苫小牧ライオンズクラブ創立60周年記念誌を発行するにあたり、苫小牧市長岩倉博文様をはじめ、331-C地区・地区ガバナーL北島孝雄、又スポンサークラブの札幌ライオンズクラブ会長L山根 春雄、並びにブラザークラブの大洗ライオンズクラブ会長L小沼 功よりご祝辞を賜りました。

■60周年記念アクティビティ

・寄贈先：苫小牧市こども通園センターあおぞら園

《発達支援福祉用具一式》

新版K式発達検査2001用具セット、知能検査教材一式 iPad

リトルタイクス遊具他 ラッサルクッション

・寄贈先：ふみの会

苫小牧ライオンズクラブ名入りハガキ 700枚

